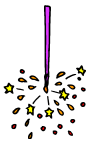
2014.08.26

伴野豊の絆レポート NO.34

伴野豊の活動報告

みなさん！こんにちは、伴野豊です。広島土砂災害の被害者の皆様に心からのお見舞い申し上げます。また、全国各地で災害復旧にご尽力頂いております関係各位に心から感謝申し上げます。
さて、私の今年の夏の活動もほぼひと段落。月末の夏祭りを残すだけとなりました。今年の夏の天候、局地的かつ一時的に目まぐるしく変化し、主催者泣かせの夏でした。そうした中でも、知多半島においての夏まつり、盆おどり等、昨夏以上に訪問させて頂き、ご準備等お世話頂いた皆様方に心から感謝しております。

伴野豊の気になる国土交通政策



国土交通行政にかかる最近の動きについて気になるものをピックアップして見ました。

○広島市内の豪雨被害を受けた非常対策本部会議の開催

広島市内で局地的な豪雨による被害が相次いだことを受け、8 月 21 日に国土交通省の非常災害対策本部会議が開催され、国土交通大臣を始め、約 40 人の担当者が出席しました。会議では、広島市内の被害状況が報告され、二次災害の防止と早期の復旧に向けて、必要に応じて人員の派遣を増やすなど、今後の対応が話し合われました。
また、台風や前線の影響で全国各地で大雨が続き、地盤が崩れやすい状況にあるため、土砂災害への注意喚起を徹底するよう、大臣から関係部局に指示しました。

○TEC-FORCE の広域派遣による広島県広島市支援

国土交通省では、広島県広島市で発生した土砂災害に対する支援を実施するため、8 月 20 日より、中国地方整備局のほか全国の地方整備局（北陸・中部・四国・九州）から TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）１４班５７名を派遣し、二次災害の防止や早期復旧のための技術支援などを実施。
広島県広島市で発生した土砂災害に対する国土交通省の対応概要
・災害発生直後から、広島県及び広島市へリエゾンを８名派遣。
・災害対策用ヘリコプターにより、上空からの被害状況把握を実施。
・土砂災害に関する専門家２名を現地に派遣し、実態調査及び技術支援を実施。
・照明車などの災害対策車両 10 台を派遣。

○建設現場で働く女性 倍増へ行動計画

国土交通省と建設業界は建設現場に更衣室を設置するなどして、働く女性の数を２倍に増やすことを目指す行動計画をまとめました。
建設現場で働く人は平成９年のピーク時に比べて３０％近く減った一方、東日本大震災の復興事業に加え、東京オリンピックの施設整備などで人手不足がさらに深刻になると見込まれています。
このため国土交通省は延べ２４万社が加盟する建設業界の５つの団体とともに、建設現場で働く女性を現在のおよそ１０万人から５年以内に２倍に増やすことを目指す行動計画をまとめました。この目標の実現に向けて、計画では各企業が建設現場に更衣室を設置したり、産休や育休からの円滑な職場復帰などに関する企業を対象とした講習会を業界団体が開いたりして、建設業を志す女性に長く働いてもらえる環境を整えるとしています。
また、こうした取り組みを後押しするため、国土交通省は女性の技術者を配置することを条件とした公共工事のモデル事業を今年度から全国で実施するとしています。国土交通省と業界団体は計画に盛り込んだ具体策を着実に実行して、建設現場を女性がさらに活躍できる職場とすることで、人手不足の解消にもつなげていきたいとしています。

伴野豊の気になる本

今回の伴野豊の気になる本は、**元財務大臣・藤井裕久さん**の「**政治改革の熱狂と崩壊**」です。「田中政治から消費税へと続く時代の流れを検証すること」と本書の目的を藤井さん自らが語る。田中内閣から現在の安倍内閣までの現代政治の流れを「消費税」という観点から鋭く検証する。回顧録と言うにはまだまだ生々しい部分もあり、また現時点では書きたくても書けない部分があるものと思えます。大平正芳元総理の「楕円の哲学」の紹介、「落選生活は本当の人間関係がわかる」「政治の根幹は人情と信頼」「嘘はつかない。至誠こそが人心を動かす」「熱狂とバブル経済、その崩壊と混乱、そして戦争」現代政治を学ぶ上で必須の書です。角川 one テーマ 21　　（定価： 本体 800 円＋税別）

ばんの豊フェイスブックページ　検索 ☛
伴野豊事務所　半田市青山 2-19-8
TEL：0569-25-1888　　FAX：0569-25-1881
HP：bannoyutaka.jp
衆議院愛知第８選挙区：半田市・ 常滑市・ 東海市・ 知多市・
阿久比町・ 東浦町・ 南知多町・ 美浜町・ 武豊町